

様式第8号（第10条関係）

遠軽町特産品等開発支援事業補助金実績報告書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

遠軽町長 佐々木 修一 様

申請者 法人名（団体名） 株〇〇〇〇
代表者 住所 遠軽町〇〇〇丁目〇番地〇
氏名 代表取締役 〇〇 〇〇
※署名又は記名押印
電話番号 0158-42-1234

令和〇〇年〇〇月〇〇日付け遠軽町補助指令第〇〇経〇〇号で補助金の交付決定通知のあった令和〇〇年度遠軽町特産品等開発支援事業補助金に係る補助事業は、完了（完了せず年度終了）しましたので、令和〇〇年度における実績について、遠軽町特産品等開発支援事業補助金交付要綱第10条の規定により、次のとおり報告します。

記

1 補助金交付決定額 金 〇〇〇, 〇〇〇円

2 口座振替払の振込先銀行等の名称、口座番号及び口座名義

振込先銀行等の名称	口座番号	口座名義
	普通 当座	

3 添付書類

- 事業実施報告書（別紙1）
- 事業精算書（別紙2）
- 特産品等開発に係る経費を確認することができる領収書の写し
- 特産品等の成果品の写真

別紙 1 (様式第 8 号関係)

事業実施報告書

商品名	○○○○○○
商品の内容	<p>※完成した商品の説明を記載してください。</p> <p>【例文】</p> <p>遠軽産○○を100%使用した商品であり、△△が豊富に含まれている。日常不足しがちな△△をお菓子感覚で食することにより、美味しさだけでなく、○○の持つ成分が損なわれることなく身体に吸収される。また、見た目の美しさにもこだわり、遠軽町を代表する特産品として製品化したものである。</p>
事業実施期間	令和○○年○○月○○日 ～ 令和○○年△△月△△日
事業実施場所	榊○○○○ (遠軽町○○○丁目○番地○)
事業の成果及びその評価	<p>※事業が完了し、どのような商品ができ、また、その商品に対する評価はどうであったかを記載してください。</p> <p>【例文】</p> <p>遠軽産○○を100%使用した商品がほぼ計画どおり完成することができた。</p> <p>味については、試食会を開催するなどして、老若男女からの意見を聴取し、甘さを控え目にした万人向けの商品を開発することができた。</p> <p>商品の形やパッケージも遠軽町をイメージしたものになっており、お土産品として遠軽町をPRできる商品となった。</p>
今後の事業展開	<p>※完成した商品を、今後、どのような方法で販売していくかを記載してください。</p> <p>【例文】</p> <p>地域特産品としてのブランド化を目指し、商品のPR活動を実施していきながら、売り上げ及び販路拡大を目指していく。</p>
その他	

別紙2（様式第8号関係）

事業精算書

収入

区分	予算額	精算額	備考
自己資金	209,000円	127,000円	
町補助金	356,000円	216,000円	
その他	0円	0円	
合計	565,000円	343,000円	

支出

区分	予算額	精算額	備考
委託費	150,000円	0円	
原材料費	100,000円	60,000円	砂糖：100kg×200円＝20,000円 小麦粉：200kg×200円＝40,000円
備品購入費	200,000円	210,000円	真空パック製造機（別紙カタログ参照）
印刷製本費	50,000円	30,000円	パンフレット印刷 1,000部×30円＝30,000円
広告宣伝費	5,000円	5,000円	新聞折り込み
使用料及び賃借料	30,000円	20,000円	試食会場借上料 10,000円×2日＝20,000円
電気料	20,000円	13,000円	電気メーター共有
電話料	10,000円	5,000円	家庭電話含む
合計	565,000円	343,000円	

上記のとおり精算したことを証明します。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

代表者 氏名 (株)〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇

- 注 1 この様式には、当該補助事業に要した経費のみを記載すること。
2 備考欄には、必要に応じ、精算された経費に係る事項を記載すること。